イラスト 人体の構造と機能および疾病の成り立ち（第４版） 訂正

2020.09.01

本書 351 頁 表 16-10 の内容が以下の通り変更となります.

表 6-16　脂質異常症診断基準（空腹時採血）*

LDL コレステロール	140mg/dL 以上	高LDL コレステロール血症
	120～139mg/dL	境界域高LDL コレステロール血症 **
HDL コレステロール	40mg/dL 未満	低HDL コレステロール血症
トリグリセライド	150mg/dL 以上	高トリグリセライド血症
Non-HDL コレステロール	170mg/dL 以上	高non-HDL コレステロール血症
	150～169mg/dL	境界域高non-HDL コレステロール血症**

＊　10 時間以上の絶食を「空腹時」とする. ただし水やお茶などカロリーのない水分の摂取は可とする.

＊＊ スクリーニングで境界域高LDL-C 血症, 境界域高non-HDL-C 血症を示した場合は, 高リスク病態がないか検討し, 治療の必要性を考慮する.

・　LDL-C はFriedewald 式（TC-HDL-C-TG/5）または直接法で求める.

・　TG が 400mg/dL 以上や食後採血の場合はnon-HDL-C（TC-HDL-C）かLDL-C 直接法を使用する. ただしスクリーニング時に高TG 血症を伴わない場合はLDL-C との差が＋30mg/DL より小さくなる可能性を念頭においてリスクを評価する.

（日本動脈硬化性疾患予防ガイドライン 2017 年版）